



おおしろ せいいち 大城 誠一 議員

◆町財政の健全化策定は

問 平成31年度以降の予算編成も厳しい、財政の健全化計画の策定は。

総務部長 現在中長期の財政シミュレーションの改定作業を行っている。平成30年度の当初予算をベースに、事務事業ヒアリン

◆町長選公約の給食費

問題

問 町長選挙で給食費の削減と無償化を公約としていたが、逆に500円の値上げがされており、公約とお整合性を問う。

町長 給食費を支払うことが困難な子ども達の世帯に対し無償化を目指すという公約であり、全てに給食費を無償化するという公約ではない。

◆マイス振興について

問 マイス建設が進まない理由を問う。

町長 事業収支の見通しと周辺環境の課題が指摘されている。さらに十分な国と県との調整協議が行われず膠着した状態にあると受け止めている。



うえざと よしきよ 上里 善清 議員

◆行財政改革について

問 厳しい財政状況を打開する行財政改革計画について伺う。

総務部長 第6次行政改革大綱において①効果的、効率的な行財政運営②民間を活用した行財政運営③安定した財政基盤による行

グで今後10年間の事業費の概算を算出し、歳入の見込みを立て、その乖離を各年度ごとの削減目標として設定する。

◆国民健康保険税赤字解消は

問 平成29年度末で9億5千万円の累積赤字を抱えるが、解消の取組みは。

福祉部長 平成35年度までに一般会計から14億6千万円を繰り入れし、累積赤字を解消する。また、国保税の見直しを行い収支のバランスをとっていく。

問 健康保険税の見直しの予定について。

福祉保健課長 平成35年度までに段階的に2回に分けて行う。



なかまつ つとむ 仲松 勤 議員

問 周辺の環境整備とは具体的にどういったことか。

都市整備課長 建設について513億円、年間振興管理費は10億円とのこと。今後の収益問題は検討中だが、環境問題についてはマイス周辺にホテル・商業地が可能となるよう150畝の都市マスタープランの見直しを平成29年12月に行い、区画整理の検討に入っている。

財政運営を柱として各施策に取り組んでいる。

問 第2次緊急アクションプランの具体的な内容について伺う。

企画財政課 第2次アクションプランの中で、平成30年度予算において町三役の給与を、町長20%、副町長・教育長10%カットを実施し、次年度以降も継続する方針。

その他、管理職手当20%カット、賃金職員の削減、嘱託員を臨時職員に変更するなどあらゆる努力をしていきたい。

問 事業再編(スクラップ&ビルド)の実行計画について伺う。

総務部長 予算編成方針を説

◆安全な通学路の整備

問 兼久交差点から西原小学校横断歩道前までの通学路が狭隘のため、自動車が歩行者(児童)を避けるように通行しているのが散見され危険である。

建設部長 町が購入した土地に歩道沿いの取得済み用地を仮舗装するなど整備を行い安心安全を確保しては。

問 西原小学校前の横断歩道は、塗装がかすれ見えづらい。カラー舗装等の整備により安心安全を確保しては。

建設部長 町が購入した土地については、コーラルを敷いて歩行できるようにしたいと考えているが、児童の歩行には課題がある。

る。

◆西原ファーム3000万円の債権放棄について

問 新聞でも取り上げられ責任者の対応や経緯の説明を求めらる。

建設部長 貸付の手続きとして連帯保証人の必要性や経営計画等での返済能力の有無等の基本チェックが無く、経営状況の確認の不充分さも相まって債権放棄となった。西原ファームについても農地拡大も含め、収益不調、経営状況の悪化、経営の在り方に無理があった。また、町も株主という立場での経営チェック不十分さも否めない。西原町・西原ファーム、協議会に責任があると考えている。

明する中で、新規の事業や経費が必要なきには、それにかわり圧縮、廃止できる事業や経費がないか必ず確認している。また毎年ローリングする中で、補助事業が終了した後も継続している事業の廃止や事業圧縮の見直しができるかを検討している。

問 ふるさと納税の行動計画と目標について伺う。

総務部長 納税を行う方の目に触れる機会を増やし、納税サイトの導入、全国どこからでも寄附が簡単にできる仕組みを構築している。また、西原町商工会とともに、返礼品の拡充を図り、県内外にアピールしていきたいと思っている。

企画財政課長 ふるさと納税



歩道部分がほとんどなく、塗装もかすれて見づらい(西原小学校付近)

確保する上からも、町としては、一般的な横断歩道ではなく、強調したカラー舗装での横断歩道表示ができないか検討する。

◆西原町農水産物流通加工・観光拠点施設について

問 マイス建設に伴う農環境整備で、農地が宅地や商業地化される中、地産地消の農産物は果たして需要と供給を満たすか。

建設部長 都市マス変更後の農振地で152畝は農産物の生産・拡大は可能である。総事業費は13億7千万円で、31年度に一括交付金活用と地方債、一般財源で計画している。開店後、4年での黒字計画である。

の実績は、平成29年度1千万円(うち個人分160万円)である。実績を上げるには、相当な努力が必要ではあるが、平成38年度までには5千万円程度に持っていきたいと思っている。



ふるさと納税受付中!